

区分	内容	当法人の取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	毎年、法人内研修や事業所内会議の中で、経営理念や指針等の浸透を図っている。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)	他産業からの転職者、中高年齢者等の採用の実績あり。引き続き、幅広い採用を取り組んでいく。
	職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	毎年、地域の看護学校の現場実習の受け入れをしている。今年度より地域行事への参加に取り組んでいく。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格取得支援制度を導入しており、研修委託業者と連携して研修機会の確保、受講料、研修費の補助。勤務シフトの考慮を行う事で研修や講習を受けやすい環境を整えている。(介護職員初任者研修・実務者研修:三幸学園、社会福祉主事:中央福祉学院)
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	相談窓口を設置。管理者による面談・相談の機会を確保している。
両立支援 ・ 多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	仕事と子育て・介護等の両立を促し、育児休業やシフト上の配慮をし、育児休業取得の実績もあり。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の事情に応じた短時間シフト調整している。非正規職員から正規職員への推奨しており転換の実績もあり。
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	法人の上位者及び管理者より、有給休暇取得に向け、定期的に声掛けを行っている。
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	有給休暇取得に向け、定期的に周知している。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	全職員への健康診断の実施、要再検査/要精密検査者への受診勧奨、保健所等による保健指導、ストレスチェックの実施等、職員の健康管理に努めている。
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	職員に対し、講師を招き介護技術の習得支援や腰痛対策の研修を実施している。また、eラーニング研修も導入している。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	ヒヤリハットシートを作成しており月に1回報告、職員共有の機会を確保しており各種事故対応マニュアルを整備して責任の所在を明確にしている。
生産性向上のための取組	現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等)を実施している	管理者による、業務のヒアリング等を行い、課題分析ツール等を通じて、課題を明確化/可視化し、業務をより安全かつ正確に、効率的に行うため、ムリ/ムダ/ムラを無くす取り組みを実施している。
	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っている	法人の代表及び管理者が職場巡視などを通して、5S活動の徹底を図っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	介護ソフトの活用による情報共有、記録の電子化による業務の効率化を図っている。
	介護ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの)、情報端末(タブレット端末、スマートフォン端末等)の導入	館内を移動しながらどこでも記録ができるよう、スマートフォンやiPad端末を導入。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	申し送りでの情報共有、スタッフミーティングやケースカンファレンスの実施で改善を図っている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	事業所のイベントでの地域交流や外部の音楽隊等の受け入れ。事業所に外部講師を招き、介護技術の講習や食に関する教室を開催した。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	社内研修を実施し、経営理念や指針の浸透を図っている。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	法人の上位者との管理者会議及びミーティングを通して、各事業所での情報の共有化を図っている。また、ケースカンファレンス等で、事例検討を通して、好事例などを共有している。